第124回日本皮膚科学会総会

ランチョンセミナー29

光線療法、わたしは今こう使う

日時 2025年5/31(土) 11:20〜12:20

会場 第13会場（パシフィコ横浜 4F（411+412））

座長 森田 明理 先生（名古屋市立大学 大学院医学研究科 加齢・環境皮膚科学 教授）

LS 29-1

光線療法、わたしは今こう使う
-当院で行ってきた光線療法の実例-

櫻井 麻衣 先生
名古屋市立大学医学部附属西部医療センター 皮膚科

LS 29-2

TARNAB®がこの先生きのこるには

日野 亮介 先生
日野皮フ科医院

共催：第124回日本皮膚科学会総会/
澁谷工業株式会社/株式会社インフォワード

第124回日本皮膚科学会総会

ランチョンセミナー29

光線療法、わたしは今こう使う

≫LS 29-1

光線療法、わたしは今こう使う -当院で行ってきた光線療法の実例-

櫻井 麻衣 先生

名古屋市立大学医学部附属西部医療センター 皮膚科

乾癬や掌蹠膿疱症、アトピー性皮膚炎、結節性痒疹などは生物学的製剤や低分子化合物等の非常に有効な治療が増えてきた。しかし高齢者や担癌状態、重篤な感染症など医学的理由、さらには経済的な理由で使用が難しい場合もある。当院では担癌状態の乾癬にPUVAバス、難治部位の爪乾癬にエキシマレーザー、菌状息肉症にPUVAバス、結節性痒疹に平面光源NB-UVB、薬剤の副作用に大きな不安を感じていたアトピー性皮膚炎患者にNB-UVB照射した症例などで光線療法が有効であった。医療経済のひっ迫が避けられない状況である。安全で安価な光線療法は治療に難渋する患者が現れたとき必ず役立つ治療と考え、有効性の高いプロトコールの開発をすすめている。

≫LS 29-2

TARNAB®がこの先生きのこるには

日野 亮介 先生

日野皮フ科医院

皮膚科で行う光線療法の適応疾患である乾癬、類乾癬、掌蹠膿疱症、菌状息肉腫(症)、悪性リンパ腫、慢性苔癬状粃糠疹、尋常性白斑、アトピー性皮膚炎又は円形脱毛症に対して、新しい薬剤が続々と出されています。アトピー性皮膚炎や乾癬、掌蹠膿疱症、円形脱毛症においては新薬の登場で光線療法の存在感が減ったかもしれませんが、類乾癬や菌状息肉症、白斑の治療において光線療法は無くてはならない存在です。そして、機器を持ってさえいれば、患者さんにすぐ治療ができるため、困りごとに迅速に対応できることは見逃せないポイントです。本講演では、TARNAB®を中心として、今後の光線療法のあり方を考えていきたいと思っております。